

講義概要／Course outline

現代の環境問題は我々の日々の生活、経済活動の結果として生じたものであり、従来からの公害問題から地球規模の環境問題に至るまで多岐にわたっています。このように環境問題は、ひとりひとりが自分の問題として考えなければならない重要な問題です。

この講義では、具体的な環境問題の現状を念頭におきながら、経済学的視点から理論的かつ政策的なアプローチを試みます。まず、経済学において「環境」がどのように捉えられているのかを分かりやすく解説し、次に問題解決のための政策手段、環境保全と経済開発、貿易自由化と環境、環境評価といったテーマを取上げます。本講義では、環境問題の現状を把握し、持続可能な社会を実現するために各主体（政府、企業、個人）は、それぞれ何をすべきかについて考え、その答えを自ら求め、それを実践していくための情報を提供します。

到達目標／Attainment objectives

環境問題を解決のために必要な知識や情報を収集・分析し、独自の政策を提案すること。

講義方法／Study Method

毎回資料を配布し、VTR・DVDなども教材として使用します。なお、理解度を把握するため、随時小テストを実施します。

系統的履修／System of study

環境論、ミクロ経済学入門、マクロ経済学入門、公共経済学

成績評価の方法／Grading criteria and method of evaluation

平常点(宿題、感想、小テスト、発表など)30%、期末試験 70%

テキスト／Textbooks

特になし、栗山浩一・馬奈木俊介(2008)、『環境経済学をつかむ』、有斐閣

参考文献／Reference books

-  栗山浩一・馬奈木俊介 『環境経済学をつかむ』（有斐閣） 2,200 円
-  諸富徹・浅野耕太・森晶寿 『環境経済学講義』（有斐閣ブックス） 2,200 円
-  栗山浩一 『環境経済学の基本と仕組みがよ〜くわかる本』（秀和システム） 1,800 円
-  小島寛之 『エコロジストのための経済学』（東洋経済） 1,700 円
-  日引聡・有村俊秀 『入門環境経済学』（中央公論新社）

Web：<http://www.econ.ryukoku.ac.jp/~tleel/>（資料を開くためのパスワード：メールで問い合わせること）

オフィスアワー：火 5

E-mail：tleel@econ.ryukoku.ac.jp

研究室：紫英館 509